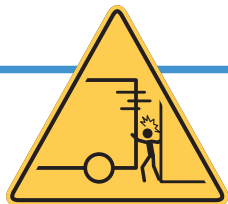


労働災害の約8割は、停車時に発生



停車中の危険は、すぐ側に

荷役5大災害

無人暴走

墜落・転落

フォークリフト
使用時の事故

後退時の
事故

荷崩れ

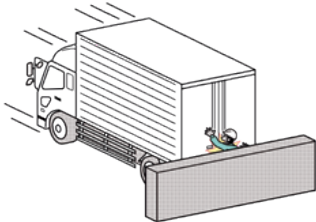
後退時の事故

荷役作業中における死亡災害の多くは、「荷役5大災害（無人暴走、墜落・転落、フォークリフト使用時の事故、後退時の事故、荷崩れ）」が占めています。今回は、「後退時」の災害事例および対策を紹介します。

災害例

後退誘導時にトラックと壁に挟まれる

被災者（ドライバー助手）は、路地でトラックの後退誘導を行っていたところ、トラックと壁の間に挟まれました。



原因

- ドライバーはバックモニターを使用せずに後退した。
- 被災者のトラック誘導位置が不適切だった。
- 被災者が安全作業において必要な知識が不足していた。

対策

- 後退は後方の状況確認ができる場合のみにする。
- 誘導者とトラックとの距離・位置を十分に確保する。
- 雇用時に安全教育を十分実施した後に、作業に従事させる。